



R7.6.12

一人一人の良さや違いを認め合える子に

校長 柚山 明

前回の学校便りでお伝えしたように、亀岡小学校は目指す子どもの姿として、「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「心も体も元気な子」を挙げています。

6月の全校朝会では、「思いやりのある子」になるために「一人一人の良さや違いを認め合う」ことが大切だという話をしました。まず、絵本「くれよんのくろくん」を読み聞かせました。みんなと違う色であることから仲間に入れてもらえなかったくろくんが、自分にしかない良さを生かして活躍し、周囲から認められるという物語です。次に、クレヨンと同じように人にもそれぞれ自分にしかない色（個性）があり、一人一人の良さや違いが合わさって素晴らしいものが生まれるということを話しました。また、自分と他人との違いがあるということは、自分にとっては何でもないような言葉や態度が相手に嫌な思いをさせていることもあるので、相手の立場や気持ちを想像することが必要だということも伝えました。

御家庭や地域でも、「一人一人の良さや違い」を尊重できる環境を整えてあげてください。

プールも笑顔もピカピカ！ 家族参観日の午後から、プール清掃を行いました。小規模校のため、児童と教職員だけでは作業が難しいので、昨年度までは地域ボランティアの方に手伝っていただいていたいました。それでも、広いプールの頑固な汚れを落とすのは、大変な労力がわかります。そこで今年度は、PTA保健体育部の提案で、保護者の方もプール清掃に協力していただくことになりました。子どもたちは、お家の方が一緒に作業してくれることで、やる気にあふれていました。地域ボランティアの方も、熟練の技でプールサイドの草や土をきれいに取り除いてくださりました。そして、やはり保護者の皆さんのパワーは絶大でした。黒ずんでいた壁や床がピカピカになりました。きれいになったプールで水泳ができることを、子どもたちは楽しみにしています。



「まちたんけん」に行こう！ 1・2年生が、生活科の学習で町探検をしました。校区内にある8か所の店舗や施設を巡り、たくさんのことを発見しました。試食をさせてもらったりお土産をいただいたりして、子どもたちはとても嬉しそうでした。そして、働いている方が、お客さんや利用者さんに喜んでもらうために工夫や努力をされていることを知り、亀岡のことが更に好きになったようです。見学をさせていただいたみなさん、本当にありがとうございました。



「たこたこ亭」さん



「かえでファーム」さん



「かざはや ひなた」さん



「TAKA」さん



「にしし〜」さん



「丸栄刺繍」さん



「郵便局」さん



「カラット」さん